武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部

教育後援会ニュース

No.20

2026.2

髙橋学長

長谷川会長

教育後援会の主要事業である教育懇談会が8月末から9月下旬にかけて開催されました。

このうち本部会場は9月27日（土）に開催され、全体会では580名の参加者があり、長谷川有紀教育後援会会長、今年度就任の髙橋享子学長の挨拶に続き、「教育の現状と取り組み」について各担当部局長から説明が行われました。

今年度、蓬田教務部長からは「MUKOGAWA COMPASS～新・人材育成方針 複雑に変化する現代社会への適応力を」、井口キャリアセンター長からは「就職状況について」それぞれ説明が行われました。

その後、各学科に分かれ学科全体会が開催されました。全学科合わせて631名の参加者があり、各学科で特色のある学科独自の取り組みや、就職先が内定している在学生や就職して第一線で活躍している卒業生の就職活動の体験報告などを実施しました。就職活動におけるスケジュールやご息女の頑張りへの気づき、家族として協力できるポイントなど参考となるヒントを得ていただけたかと感じております。実際に父母等にご回答いただいたアンケートでは、体験報告を娘に聞かせたかったとの回答が複数ありました。

学科全体会：歴史文化学科

学科全体会終了後には、希望者と担当教員（担任またはゼミ担当者等）による個人懇談が実施されました。個人懇談は各学科の担当教員とご息女の成績状況や学科の教育内容について個別に懇談ができる良い機会となっております。

また、個人懇談と同じ時間帯には、自由参加型の共通プログラムも開催され、個人懇談の待ち時間や懇談終了後に学長との懇談、一般就職・教員就職・留学・奨学金・クラブ活動・学生生活のサポート・一人暮らしや学寮での暮らしについての相談、トピックス映像の放映、図書館の見学などにご参加いただきました。

学科全体会：情報メディア学科・社会情報学科

学科全体会：英語文化学科・英語グローバル学科

教育懇談会は、ご息女の学生生活や就職活動を支えるためのヒントや、大学の最新情報を知っていただける機会です。また、本学教員と交流する機会でもあります。

来年度も同様に開催の予定です。在学生のご家庭には7月に詳細のご案内を送付いたします。是非ご息女と共にご参加いただければと存じます。

これからもご息女の成長と共に教育懇談会の発展に向けまして、ご意見、ご要望などがありましたら事務局までご連絡ください。

一般就職相談：キャリアセンター

教育懇談会(本部会場)開催内容

（2025年9月27日実施）

全体会　公江記念講堂12:30～
- ●教育後援会会長・学長挨拶
- ●教育の現状と取り組み
  - 教務部（MUKOGAWA COMPASS ～新・人材育成方針 複雑に変化する現代社会への適応力を）
  - キャリアセンター（就職状況について）

学科全体会　各学科会場13:20～
（建築学部・薬学部・環境共生学部は13:50～）

個人懇談　研究室等　14:30～
（建築学部・薬学部・環境共生学部は15:00～）

共通プログラム（自由参加）　各相談部署にて　14:20～
- ●各種相談（就職・教職・留学・奨学金・学寮・クラブ他）
- ●キャンパス見学（自由散策）11:30～
  （附属図書館、日下記念マルチメディア館、公江記念館他）

目次

- ◆教育懇談会……1.2
- ◆会長・支部長あいさつ……3
- ◆就職活動体験談……4
- ◆キャリアセンターだより……5
- ◆学生傷害見舞金について
  教育後援会奨学金について……6
- ◆教育後援会支援報告……7
- ◆SPOT LIGHT
  卒業証書・学位記授与式のご案内……8

教育懇談会支部会場

～高松・金沢・福岡・広島～

支部会場についても、高松、金沢、福岡、広島の4地区で、多くの父母等の皆様にご参加いただき、無事開催することができました。

本学では、遠方にお住まいの父母等にも、「少しでも大学を身近に感じていただきたい」という思いから、教育懇談会を支部でも開催しています。当日は髙橋学長、教育後援会会長等、各学部・学科の代表教員が直接会場へ出向き、ご息女の教育や学生生活についてご理解を深めていただく機会とさせていただきました。

4会場共通の全体会では、まず支部長および学長からの挨拶に続き、教務部より授業や成績に関する教育の現状と取り組みを説明し、キャリアセンターからは最新の専門的な就職情報を提供いたしました。

また、在学生（就職内定者）が就職活動体験談で、大学のキャリアセンター活用、自己分析、そして学生時代に力を入れたこと（ガクチカ）の見つけ方・まとめ方など、Uターン就職を含めた実践的な経験談を提供しました。参加された父母等の皆様からは、学生の具体的な「生の声」が大変参考になったというご意見を多数いただいております。

全体会

就職活動体験談発表者への個別相談コーナー

続く個人懇談会では、成績や担任・ゼミ担当教員からのコメントをもとに、学科教員と個別にじっくりとお話しいただきました。これに加え、学長懇談、一般就職相談、教員就職相談、就職活動体験発表者への個別相談コーナーを設け、多角的なご相談に対応いたしました。

参加された父母等の皆様からは、以下のようなお声が多く寄せられました。

「個別懇談では、普段の授業や研究活動における娘の具体的な様子を先生から直接お聞きすることができ、大変安心しました。」

「就職体験談は、内定を勝ち取った学生さんの飾らない『生の声』が聞けて、娘にもすぐに伝えたい具体的なポイントが散りばめられていました。」

「学科の先生方とざっくばらんにお話しできたことも非常に良かったです。娘のこれからの活動への大きなモチベーションとして活用させたいと思います。」

教育懇談会は、大学と父母等の皆様との大切な情報交換の場であり、支部の皆様との絆を深める貴重な機会となっております。来年度も内容を充実させ、皆様をお迎えしたいと存じます。ぜひご息女と一緒にご参加ください。

個人懇談会

令和8年度教育懇談会（予定）

開催場所	期　日	会　場
金沢会場	8月29日（土）	ANAクラウンプラザホテル金沢
高松会場	9月5日（土）	リーガホテルゼスト高松
広島会場	9月6日（日）	リーガロイヤルホテル広島
福岡会場	9月12日（土）	福岡ガーデンパレス
本部会場	9月19日（土）	大学中央キャンパス、他

ご案内は令和8年7月に発送する予定です。ご都合の良い日・会場をお選びいただけます。

支部会場と本部会場との複数参加も可能です。

令和7年度の参加者数

開催場所	期　日	会　場	参加者数
高松会場	8月24日（日）	リーガホテルゼスト高松	32人
金沢会場	8月30日（土）	ANAクラウンプラザホテル金沢	23人
福岡会場	9月6日（土）	福岡ガーデンパレス	12人
広島会場	9月7日（日）	リーガロイヤルホテル広島	20人
本部会場	9月27日（土）	大学中央キャンパス、他	356人
＊個人懇談会出席者数		合計	443人

教育後援会会長・支部長あいさつ

教育後援会会長
長谷川　有紀

日頃より教育後援会の活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

教育後援会では『大学と家庭の連携』『教育懇談会の実施』『奨学金の貸与』『傷害見舞金の給付』『学生の課外活動へのサポート』を中心に活動しています。その中でも特に『教育懇談会』は学生生活や就職状況など大学の現状が把握でき、ご息女の大学生活の様子を担任の先生またはゼミ担当の先生から直接聞ける貴重な機会となります。ぜひ多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

最後に、これからも学生一人一人の成長を支え、充実した生活が送れますようサポートしてまいります。

今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

北陸支部長
森本　幸子

日頃より教育後援会の活動にご理解とご協力を賜りお礼を申し上げます。

皆様には、離れて暮らすご息女を心配しながらも温かく見守っていらっしゃる毎日かと存じます。そして「共学化」のニュースに最初は驚き、次第に様々な思いや考えが浮かび、今は期待と不安が入り混ざったご心境ではないでしょうか。

昨年は台風の影響で中止となった金沢会場が、今年度は無事開催されました。コロナ禍を経て、対面で生の声を聴くことの意義をより感じるようになりました。教育懇談会では学長のお話や北陸出身の在学生の就職活動体験談などを対面で聴くことができ、個人懇談や就職相談などのコーナーもございます。是非、足をお運びいただき、先生方や在学生の生の声をお聴きください。そして皆様のお声もお聴かせください。

中国支部長
山本　洋司

皆様におかれましては、教育後援会の活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨今の社会情勢は変化が目まぐるしく、私たちが過ごしてきた時代の価値観は大きく変化しております。ゆえに、ご息女の大学生活および将来の進路を、いつも気にかけられていることと存じます。

地方から子を送り出した親としては、教育懇談会は父母等の皆様の知らないご息女の大学生活を、諸先生方から知ることのできる数少ない機会となります。

大変有意義な時間を設けていただいていることに深く感謝いたしますとともに、引き続き父母等の皆様にはご理解ご協力をいただき、積極的なご意見、ご参加をお待ちしております。

四国支部長
太田　敦子

父母等の皆様におかれましては、ご息女の学生生活について、ご心配、ご不安を持たれることもあろうかと思います。

教育懇談会では、教育の現状や就職支援など、様々な大学の取組について説明いただけるほか、全体会の後に実施される個人懇談会では、事前に担任やゼミの先生から聞き取った、ご息女の様子等を報告してくれますので、きっと皆様の不安等を払拭する一助となると思います。

このような機会を設けていただいている、先生方を始め大学関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、教育後援会としても大学と連携し、安心した学生生活のために尽力してまいりますので、引き続き、教育後援会活動へのご理解とご協力、並びに教育懇談会へのご出席を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

九州支部長
寺師　雅代

平素より皆様には、教育後援会の活動にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、例年開催されております教育懇談会は、地元にいながら、大学をより身近に感じていただける絶好の機会であります。学長先生との懇談や学科の先生との個人懇談、就職相談など魅力的なプログラムが用意されています。また、学生さんの内定に至るまでの体験談は、とても興味深いものです。

このような貴重な場を設けていただいていることに感謝しますとともに、本会は、引き続き大学と連携し、よりよい会の運営に努めてまいります。是非、足をお運びください。今後とも皆様のお力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。

就職活動体験談

教育懇談会では、「就職活動体験談」と題し、卒業生・在学生に、活動中に感じたこと、気付き、両親への思いなど多岐にわたる話をしていただいています。今年度の内容の一部をご紹介します。

「周囲と比べない」就活の進め方

私の就職活動は、3年生の4月に大学のガイダンスに参加することから始まりました。当初は、自分のやりたいことが明確ではなかったため、まずは業界や職種への理解を深めることに時間を費やしました。夏休みや後期には、オンライン説明会、オープンカンパニー、学科内の授業にあるインターンシップに積極的に参加しました。特に、可能な限り対面のインターンシップに参加することを心がけました。実際に社員の方と話したり、社内の雰囲気を肌で感じたりすることで、会社への理解が深まり、とても良い経験になったと感じています。

12月頃から早期選考が開始し、私は3社受けました。しかし、面接で上手く受け答えができませんでした。この失敗から、面接対策が決定的に不足していたと痛感し、すぐに大学のキャリアセンターで面接練習を行うようにしました。その結果、少しずつ自信を持って面接に臨めるようになりました。

3月頃になると、就職活動は本格化し、説明会やエントリーシート（ES）の提出、面接が増えてきました。自己PRやガクチカなど頻出項目は、本格化する前にキャリアセンターで添削してもらっていたため、ESをテンプレート化し、企業ごとにアレンジすることで効率的に対応できました。自己PRやガクチカは、忙しくなる前に作成しておくことを強くおすすめします。

活動が本格化してからは、毎日のように予定が入るようになり、スケジュール管理の重要性を痛感しました。また、私は地元の石川県での就職も視野に入れていたため、大学からの地域に関する情報をこまめにチェックし、積極的に参加しました。最終的には、当初の希望であった食品メーカーから内定をいただき、関西の会社を選びましたが、自分の納得のいく選択ができたと満足しています。

就職活動は4年生の7月まで続き、長期戦となりました。周囲との情報交換は大切でしたが、友人の選考状況を聞いて焦りや不安を感じることもありました。しかし、周囲と比べすぎず、自分のペースで進めることが何よりも大切だと学びました。

実際に就職活動を行ってみると、想像以上に大変で、メンタル的に辛くなる時期もありました。そうした中、家族や周囲の支えが大きな励みとなりました。悩みなどをすぐに話せる環境を作っておくことが、就職活動を乗り越える上での鍵だと実感しています。

就職活動は、色々な困難がありましたが、自分自身と真剣に向き合い、社会人になる前に大きく成長できるとても貴重な時間でした。これから就職活動を行う皆さんには、どうか自分のペースを大切にして、頑張ってほしいと思います。

私が企業選びで重視した「人」と「雰囲気」

私の就職活動は、3年生の6月頃から意識し始めたものの、「本当に自分にできるかな」「正直やりたくないな」という気持ちが大きかったため、本格的な活動開始は3年生の1月と遅れました。とにかく、将来のために何か行動しなければならないと思い、具体的な目標がないまま、まずは合同説明会に参加することから始めました。

不安を感じていた時期、私は3年生の9月からスポーツ経験者向けの「スポナビ」を利用しました。担当の方と何度も面談を重ねて自己分析を深めていったことで、焦らずに自分のペースで、自分のやりたいことや向いていることを少しずつ明確にすることができました。

約9年間陸上競技を続けてきた経験から、「健康に関わる仕事がしたい」という漠然とした思いがあり、合同説明会で医療機器の会社に興味を持ち、実際に4社のインターンに参加しました。大学でスポーツ医療などを学んでいたため、医療機器の仕事はイメージがしやすく、自分の働く姿が自然に想像できました。この「働くイメージができること」が、私にとって企業選びの重要な指標となりました。

年が明け、本格的に選考に進み始めました。初めてのWeb面接では緊張で思うように話せなかった時は「どこにも受からないかも」と落ち込みました。手応えがあった面接でも不合格となる現実に直面し、メンタル的に辛い時期もありましたが、気持ちを切り替えて次に進むことの大切さを学びました。

私が企業を選ぶ上で最も重視したのは、会社の「人」と「雰囲気」でした。仕事内容は大切ですが、私にとっては人との関わりが一番のモチベーションになると感じていたからです。そのため、説明会や面接は可能な限り対面で参加し、人事の方の雰囲気や人柄、「この人と働きたい」と思えるかを自分の目で確かめました。

最初に医療機器の会社から内定をいただきましたが、最終的に保険会社に入社を決めました。保険業界には「大変そう」「厳しそう」というマイナスイメージがありましたが、2月に合同説明会で偶然出会った会社の人事の方の暖かさに強く惹かれ、インターンに参加してみることにしました。そのインターンは学生同士のグループワークが多く、すぐに打ち解けられる雰囲気で、今までで一番楽しい経験でした。

さらに、選考のすべてを対面で実施してくださり、何度も会社を訪れるうちに人事の方と親しくなれたこと、そしてリクルーターの先輩が1対1でサポートしてくれたことが心強かったです。抱いていた不安も率直に相談し、納得できる答えをいただけたことで、安心して入社を決意できました。

最初は保険会社に対しても勤務地である神戸についても親から反対されましたが、私の意思を尊重して応援してくれるようになり、本当に感謝しています。

振り返ると、不安から始まった就職活動も、終わってみれば「楽しかった」「自分の成長に繋がった」と思える貴重な経験でした。これから就職活動を始める皆さんには、「周りと比べず自分のペースで進めること」を大切にしてほしいと心から応援しています。

各会場で講演いただいた方々（敬称略）

高松会場　小杉　暖羽（大日）
藤井ももか（新健）
金沢会場　中川紫央里（大環）
北山　睦菜（食創）
福岡会場　小田　涼叶（大環）
國　妃万里（新健）
広島会場　吉重　美伶（大英）
荒木　遥菜（大環）

本部会場で講演いただいた方々（敬称略）

小山　夏世（大日）　仲渡　弓琴（大情）
持田　美虹（大日）　藤原　彩（大情）
冨山　真央（大英）　田端　眞衣（食栄）
宮崎　柚葉（大英）　金子　夏実（食栄卒）
中曽　真衣（新教）　八十瀬　初（食創）
吉田　安里（新教卒）　中山　和奏（食創）
多田帆保美（太心・理）　中谷　友維（景観修了）
井上　楓彩（太心・心理）　乗越　由香（院築修了）
北庄司真衣（太心・福祉）　平郡　若奈（大演）
松本　華鈴（太心・福祉）　増田真奈美（大演卒）
伊達　朝香（新健）　森本奈菜美（新薬卒）
奥野　鈴捺（新健卒）　加藤　由真（大康）
村下　友風（大環）　田中　沙季（大康）
井上　遥（大環）　飯干　実咲（大護）
山﨑　優衣（大環）　山之内　舞（経営卒）

From Career Center

就職活動に向けて、学生時代にしておいてほしいこと

キャリアセンター長
井口 徹郎

長いようで短い学生時代。就職活動は、大学3年生の夏休みにオープンカンパニー（企業説明会や短期間の仕事体験等）やインターンシップに参加することから始まります。納得できる就職先を得るために、学生時代に何をしておかなければならないのでしょうか。

第一に、何かに真剣に取り組む経験が大切です。授業、部活動、ゼミ、アルバイト、ボランティア等、取り組む対象は自由です。その活動の中で、目標に向かって課題を乗り越えたこと、仲間と協力し合ったこと等、自分の経験をまとめておきましょう。エントリーシートや面接では、そうした学生時代の経験が聞かれます。目立つ成果や結果が必要なわけではありません。面接官が知りたいのは、将来の仕事に通じる日々の行動力やチームワークの力です。父母等の皆様には、ぜひそうした活動を支えていただければと考えています。

第二に、就職先を幅広く知る努力が重要です。自分の興味や関心に基づいて、知っている業界（公務員を含む）や企業の数を増やしていきましょう。大学内の企業説明会や、各企業のオープンカンパニー等に参加し、知識を深めてください。自分に合う企業と巡り会うために、進んで行動してほしいと考えています。父母等の世代とは、業界や企業の情勢も大きく変わっています。ご息女の志望業界や企業については、しっかりその思いに耳を傾けていただければと思います。

上記の第一であげた「学生時代の振り返り」や、第二で述べた「業界・企業研究」については、キャリアセンターの個別相談や各種のセミナー等でも対応しています。ぜひ、キャリアセンターもうまく活用しながら、納得できる就職先を得ていただきたいと願っています。

【最近の就職活動】

2026年3月卒業予定の大卒求人倍率は1.66倍（出展：株式会社リクルート「ワークス大卒求人倍率調査」。前年1.75倍より0.09ポイント低下）。不透明な景況感や原材料価格や人件費の高騰などにより依然として厳しい業界はあるものの、引き続き堅調な採用意欲がみられます。

また、学生の皆さんの希望も安全志向が続いており、大企業希望者は3年連続で増加しています。早い段階から志望動機や自己PRが明確に主張できるようになっていないと内定獲得が難しくなっています。

2027年3月卒業予定者対象の採用活動時期も前倒しの傾向があり、インターンシップへの参加など早期から主体的に活動している学生ほど内定を獲得するケースが増えています。

【キャリア・就職等相談】

「大学で友人と会ってもあえて就活の話を話題にしにくい」と不安を感じている学生の声を聞きます。そのような時にはぜひキャリアセンターをご利用ください。

キャリア・就職相談では、専門のキャリアカウンセラーが対面とオンラインによる個別面談を実施し、一人ひとりの悩みに寄り添っています。カウンセラーとやりとりをすることで不安が軽減されることもあります。ご息女にとって、初めての就職活動です。さまざまな不安解消のためにも、ぜひキャリアセンターの利用をお勧めください。

MUSESのキャリア支援メニュー「キャリア・就職等相談申込」から予約をしていただけます。

主な就職活動支援内容

就職活動の方法に変化はあるものの、大事なことは変わりません。まずは「情報収集」から始めましょう。自分自身の振り返りを行う自己分析、社会や仕事について情報を収集する業界・企業・職種研究など自分と社会を改めて知ることが大切です。そして、働きたいと思える企業を選択できる力を身に付けましょう。

情報収集の一つのツールとして、MUSES「キャリア支援メニュー」があります。就職相談の予約やガイダンスの申し込み、企業・求人・セミナー・インターンシップ・Uターン情報の参照、OG情報の検索など、さまざまな機能があり、武庫女生限定の情報が満載です。最終的には「進路報告」メニューからご息女ご自身の卒業後の進路を入力していただきます。

<主な取り組み>

- **●各種セミナー・ガイダンス講座**
  ➡早期からキャリア形成を考え、社会人基礎力をつけるキャリアセミナーや就職活動に役立つガイダンス・実践的な講座を多数実施しています。
- **●筆記試験対策**
  ➡SPI模試、玉手箱対策講座など年間を通じてオンライン受講できる講座を実施しています。
- **●インターンシップ・就業体験**
  ➡企業等で一定期間行う、実習・研修的な就業体験です。社会で求められる知識や能力を認識できる良い機会となっています。実施方法は対面かオンライン、企業によってさまざまです。
- **●企業見学ツアー（オープン・カンパニー）**
  ➡スタッフが引率して、企業等のオフィスや現場を見学します。実際に自分の目で確かめることは将来の目標設定や適性発見、業界研究・企業研究に役立ちます。

<セミナー・ガイダンススケジュールはこちらから>
https://info.mukogawa-u.ac.jp/career/schedule/

就職活動に関する教育後援会からのご支援ありがとうございます！

学内合同業界研究会・企業説明会

2027年3月卒業予定の武庫女生を積極的に採用したい企業約270社に来学いただき、学内合同企業研究会を8月5日、11月8日、15日、29日、12月6日、1月24日、2月4日に対面とオンラインで開催しました。また、学内合同企業説明会を3月4日、25日にオンラインで開催いたします。

武庫女生を積極的に採用したいという企業と出会えるチャンスです。ぜひ、参加をお勧めいただきますよう、よろしくお願いいたします。

就活特訓講座

毎年、学生の申し込みが非常に多い人気講座「就活特訓講座」を今年度も随時、実施しております。オンライン版、対面版両方の経験ができるようにプログラムを工夫しています。

【エントリーシート編】6月～3月（予定）
【グループディスカッション・グループ面接編】6月～3月（予定）
※企業の動きを見ながら適宜開催します。そのため開催時期が前後することがあります。
最新の情報はキャリアセンターホームページをご覧ください。

教育後援会事業紹介

学生傷害見舞金

「学生傷害見舞金」とは、本学学生が「正課中の事故による傷害」および「本学公認団体（クラブなど）又は公認ボランティア団体による正規の活動（以下、学友会活動）中の傷害」に対して、教育後援会より支給される見舞金です。規程により見舞金算出方法、対象期間、申請期限が定められております。

大学生活は、学費などの経済的負担が父母等の皆さんにとって一番大きな時期ではないでしょうか。この学生傷害見舞金事業は、万が一の時、治療費、入院費の負担を少しでも抑えようという教育後援会の相互扶助の考えに基づきます。

事故に遭わないに越した事はありませんが、万が一、正課中、学友会活動中にケガをした場合は、すぐに学生課へ連絡してください。

教育後援会奨学金

「教育後援会奨学金」は、経済的理由により学業の達成が困難であると認められる学生に対し、授業料の一部を貸与して学業の達成を援助することを目的としています。

本奨学金の詳細は、下記をご確認ください。出願時期になりましたら、募集要項や出願書類を学内ポータルサイトMUSES（ミューズ）にてお知らせいたします。

その他、ご質問等ございましたら、学生課奨学金担当（0798-45-3603）までお問い合わせください。

出願対象	・卒業学年に在籍し、当年度末に卒業要件を満たし、卒業が見込まれる者 ・卒業後の就職先が内定（内々定を含む）している者
出願資格	下記①～③のすべてを満たすもの ①家計困窮により、当期授業料の支払いが困難な者 ②就職が内定（内々定を含む）し、返済が見込まれる者 ③家計基準が、日本学生支援機構奨学金第一種基準内にある者
貸与額	当年度授業料の1/2～1/5相当額を希望により、貸与
返還期日	卒業後5年（最長8年）以内に原則年賦で返還
他奨学との併給	併給可
出願期間	前期：5月上旬～6月上旬 後期：10月下旬～11月上旬
支給予定日	前期：7月上旬 後期：12月上旬

教育後援会支援報告

教育後援会では学友会行事に対し「学生生活諸活動補助費」や「研修費」という形で支援しています。今年度の委員長より、行事を終えて一言、報告をいただきました。

第70回 文化祭（文化祭実行委員会）

第70回文化祭が無事に終了いたしました。今年度は「共創―70年の夢を描く―」というスローガンを掲げ実行委員84名一丸となって文化祭運営をしてきました。新たな試みとして、フリー観覧でのお笑いライブ、マルチメディアホールでの公演、FM802公開収録のオープニングライブアクト、閉会式企画のMuko Collection、モザイクアート企画などを行いました。時には思うようにいかないことや悩むこともありましたが、多くの方々に支えられ乗り越えるたびに成長を実感することができました。前夜祭含めた3日間で述べ13,445名と昨年度より多くの方にご来場いただき、皆様と共に文化祭を創り上げることができたことを、心から誇りに思っております。最後になりましたが、第70回文化祭の開催にあたり教職員の皆様、関係業者の皆様、ご来場いただきました皆様には心から感謝申し上げます。

第61回 体育祭（体育祭実行委員会）

第61回体育祭は前年度に引き続き1日開催となりましたが、学生はもちろん多くの学外の方々にもお越しいただきました。

「WITH A SMILE」をテーマに約85名の実行委員が当日に向けて全力で準備に取り組みました。ドッジボールや玉運びリレーをはじめ、抽選会に参加できるミニゲーム「ムコリンピック」も企画しました。

また、武庫女の伝統である食栄・食創応援団、ステージ発表には3団体が、部活動発表には3部が参加し、素晴らしい演技を披露して体育祭を彩ってくれました。

この伝統を今後も継承し、さらに充実した体育祭の実現を願っております。

最後に、体育祭の開催にあたりご協力いただいたすべての皆様に厚くお礼申し上げます。

マリンスポーツ講習会（運動部委員会）

9月上旬、沖縄県のオクマプライベートビーチにてマリンスポーツ講習会を実施しました。

滞在中は天候にも恵まれ、美しい海でシュノーケリングやダイビング体験など、さまざまな体験を行いました。色とりどりの魚やサンゴ礁を間近で見ることができ、参加者からは「感動した」「また参加したい」との声が多く聞かれました。

講習を通して海の安全について学びながら、インストラクターの方々の丁寧な指導のもと、安心して海の魅力を体感することができました。

異なる学年・学部の学生同士で交流を深める良い機会にもなり、思い出に残る4日間となりました。

献血活動（総務委員会）

献血活動は総務委員会と厚生委員会の両委員会が協力しながら、年に2回実施しています。

前期と後期に中央キャンパスと浜甲子園キャンパスで、それぞれ1日ずつご協力をいただき、前期は105名、後期は75名の方に献血していただきました。

後期は寒暖差も激しく、ご協力いただけなかった方がたくさんおられました。しかし、興味を持ち、ブースに足を運んで来てくださる方が多く、感謝の気持ちでいっぱいです。

参加人数が減少している一方で、私たち委員はどうしたらもっと参加したくなるのか、どう広報活動をしたら興味を持ってもらえるのかなど、たくさんの相談をしながら来年度に向けて動いています。

皆様にご協力をいただき実施できていることを実感しながら、来年の献血活動にも精を出してまいります。

クリスマスツリー点灯式（総務委員会）

総務委員会主催のクリスマス点灯式が12月12日（金）、もみの木広場にて開催されました。色鮮やかなクリスマスツリーのもと、学生部長の徳重先生のお話や、学内団体の手話部、エアロビックダンス部、浜甲カンタービレのパフォーマンス、そしてご参加いただいた多くの方々の歓声により、1年の締めくくりにふさわしい華やかなイベントとなりました。

学内ではもみの木広場だけでなく、むつみ橋や噴水広場でも様々な装飾がなされ、日が落ちてからは暖かな輝きで、景色にいつもとは違った彩りを与えてくれました。

教育後援会ではクラブ活動に対し「学生諸活動補助費」という形で支援しています。
今回はその中から運動部のカヌー部を紹介します。

学友会 SPOT LIGHT

カヌー部

カヌー部は、現在3年生4名、2年生6名、1年生9名、計19名の選手と学連員で活動しています。

8月に山形県・月山湖で行われました全日本学生カヌースプリント選手権大会では、女子総合優勝14連覇を達成することができました。しかしながら、カナディアン部門は優勝したものの、カヤック部門準優勝と、目標としていた両部門優勝を逃す結果となってしまいました。

この大会をもって4年生が引退し、9月から新チームが始動しました。来年は両部門優勝を勝ち取り、女子総合優勝15連覇を達成するために、現在は冬という厳しい季節ですが、全員がハードワークに全力でぶつかり、楽しみ、個々の力とともに、チーム力を高めております。

3月には、日本代表選手選考会が行われます。武庫川から世界で活躍する選手を一人でも多く輩出するために、より集中力を高めて戦ってまいります。

そして、4月には新入生を迎え入れ、夏に向かってより一層加速できるよう、一日一日を大切に、日々前進していきたいと思います。

今後ともご支援、ご声援のほどよろしくお願いいたします。

令和7年度 卒業証書・学位記授与式

今年度の卒業式は、下記の予定で挙行いたします。
式典にはご家族の方も参列していただけます。
これまで本学では卒業式においては制服着用としておりましたが、令和７年度式典より
服装を自由とすることを決定いたしました。
式典に相応しい服装であれば、制服を含め、スーツや袴など、自身で選ばれた服装で出席して頂けます。
式典に関する最新情報、詳細の内容は、後日ホームページ・MUSES（学生専用ポータルサイト）にてお知らせいたしますので、ご確認ください。

卒業式

開催日時		対象学部	開催場所
令和８年（2026年） ３月19日（木）	10：00～	文学部、建築学部、音楽学部、看護学部	中央キャンパス 公江記念講堂
	14：00～	教育学部、食物栄養科学部、薬学部、 幼児教育学科、食生活学科（短大）	
令和８年（2026年） ３月20日（金・祝）	10：00～	健康・スポーツ科学部、生活環境学部、 経営学部、 生活造形学科（短大）	

教育後援会ニュースは、大学のホームページ「父母等の方」のページで閲覧することができます。
ホームページアドレス　https://www.mukogawa-u.ac.jp

今後も、より良い教育後援会活動を行えるよう、ご意見・ご感想等ございましたら、学生部までお寄せください。